

社会福祉法人

ひたちなか市社会福祉協議会



発行 社会福祉法人ひたちなか市社会福祉協議会
〒312-0031
茨城県ひたちなか市西大島3丁目16番1号
TEL / 029 (274) 3241
HP / <http://hitachinaka-syakyo.or.jp>
Email / hnsa-o1@abeam.ocn.ne.jp

ひたちなか市社協と一緒に働く方を募集します

○ひたちなか市社会福祉協議会（ひたちなか市社協）

社会福祉協議会は社会福祉法第 109 に規定された、地域福祉を推進することを目的とした社会福祉法人です。ひたちなか市社協では以下の事業をはじめ、多岐に渡る福祉事業を展開しております。

地域福祉事業

（福祉の街づくり・ボランティア・子育て支援・高齢者生きがいづくり 他）

地域支援事業

（成年後見・日常生活自立支援・高齢者相談 他）

障害児者支援事業

（障害児発達支援・地域活動支援センター運営・相談支援 他）

介護保険関連事業

（居宅介護・訪問介護・地域包括支援センター運営・介護予防支援 他）

その他の事業

（共同募金・福祉施設指定管理者など）

住みよい街づくりの実現に向けて、一緒に仕事をしましょう！

～ひたちなか市社協 職員の声～

氏名：S.A（入職：令和4年）

配属：生きがい福祉課 生きがい福祉係 発達支援事業かなりや教室・野蒜教室担当

私は中学時代から困っている人の役に立つ仕事に就きたいと思っていたので、大学で福祉学を学び、地域の人役に立ちたいという思いから、ひたちなか市社協の職員採用試験を受験し入職しました。

配属のかなりや教室では、心身の発達に心配のあるお子さんとその保護者から相談を受け、地域の関係機関と連携を図りながら、お子さんの成長を支援しており、子供の“できた”ときに保護者と一緒に喜び、近くで子供の成長を見守れることにやりがいを感じています。

職場では右も左も分からない私に、一から丁寧に指導していただいております。困ったときにはすぐに相談に乗って下さり、適切なアドバイスをいただけ、安心して業務に従事できる環境だと感じています。

プライベートでは映画鑑賞が趣味で、さまざまなジャンルの映画を月に数本観ています。舞台鑑賞にも興味があり、休暇を利用して兵庫県宝塚市に宝塚歌劇団のステージを観に行きたいと思っています。

今後もひたちなか市社協職員としてさまざまな知識やスキルを身につけ、地域の多くの方々に関わりながら、困った人がいたら声をかけいつでもどんな時でも手を差し伸べられる社協づくりを目指したいと思います。



氏名：S.M（入職：令和4年）

配属：地域福祉課 地域支援係

私は地元の大学卒業後に金融機関で勤務し、ひたちなか市社協に入職しました。

ひたちなか市社協では、サロン活動や高齢者事業、障害者支援事業等、地域への支援を幅広く展開しており、地域において、助けを必要としていても声を上げられない方に寄り添うことができ、また多世代の地域住民の方と関われるのが「ひたちなか市社協」だと感じたため、採用試験を受験しました。

地域福祉課地域支援係に配属されて、お年寄りの見守りを支援する「小地域ネットワーク」「高齢者相談事業」や生活困窮者を支援する「緊急時食料等提供支援事業」を担当しています。

最初は異業種への転職で緊張していましたが、あたたかく受け入れてくださいました。また、私は大学で福祉に関することを学んでいないので不安だったのですが、「仕事の中で少しずつ学んでいけば大丈夫」といった声をかけてくれ、明るくユーモアのある先輩が多く、事務所内は和やかです。忙しい中でもアドバイスを頂きながら、仕事に取り組むことができています。

同期とは同じ事務所内ですが、他部署であり仕事内容が異なるので、平日に顔を合わせる機会が中々ありません。休日にランチに出掛けてお互いの仕事の話をしたりしています。

私が担当している高齢者相談事業は、相談員がふたり暮らし高齢者世帯や日中自宅にひとりである方のご自宅へ訪問し、簡易的な困りごとや悩みごとを聞き、必要に応じて福祉サービスに繋げたり、他の機関と協力して解決に結び付けたりしています。相談員を取り纏め、気になるケースがある場合には上司へ報告し、相談員と共に訪問し、困り事や心配事等の改善のための情報提供をしています。訪問した先で、「住んでいる地区の垣根を越えて交流することができる場所があると良いのにね」というお話をいただき、調べてそのような場所を見つけて情報を提供したところ、その方に感謝された時は、仕事を通して地域住民の方のお役に立てたやりがいを感じられてとても嬉しく思いました。

趣味はプロ野球観戦です。今までスポーツとは無縁だったのですが、友人の影響で観るようになりました。今では西武ライオンズのファンです。子どもの頃から絵を描くのも好きです。最近は描けていないのですが、自分が外食で食べたものを色鉛筆で模写するのが好きです。

今後やりたいことの一つは、ロックンやカウントダウンなどの野外音楽フェスやライブに行くことです。

ひたちなか市社協での私が目指すことは、地域住民から信頼される職員になることです。地域住民との関係性を築き、良い方向へ変えるサポートをすることで、住み慣れた地域で誰もが生きがいを感じ、安心して過ごせるような環境づくりに寄与したいです。併せて自分もスキルアップで社会福祉士の資格取得を目指したいと思います。



※画像の森友哉選手は、現在オリックス・バッファローズ所属です

氏名：T.S（入職：令和5年4月）

配属：介護福祉課

私は大学を卒業後にスポーツ関連企業と児童養護施設で勤務し、令和5年にひたちなか市社協に入職しました。幼少期にひたちなか市で過ごし、現在もひたちなか市に在住していることもあり、自分の経験を活かして、ひたちなか市への恩返しと住民の方々への役に立ちたいと思ったのが入職したきっかけです。

配属された介護福祉課介護福祉係では、主に介護保険に関わる事業の事務をしながら、介護予防教室（元気サポート教室）の運営や外部団体「ひたちなか市介護サービス事業者連絡協議会」（市内外の介護保険事業所のつながりづくりの交流会や職員の知識・モチベーション向上の為に研修会などを企画・実施）の事務局などに従事しています。

入職前は、社協の事業は具体的に何を行っているのか正直分かりませんでした。入職後すぐに事業内容を含め社協について、上司から色々教えてもらいました。今まで介護に関わる機会がなかったので、介護福祉課介護福祉係に配属されたときは不安でしたが、上司がサポートやアドバイスをしてくれるので日々精進しながら業務に取り組んでいます。経験したことがないことでも、安心してチャレンジできる環境です。

プライベートでは、趣味でサッカー・フットサルを週末に行っています。体を動かすことは健康維持できて気分転換になるので最高です。子どもの頃から続けているので、体がいうことを聞くまでは続けたいと思っています（笑）

住民を主体とし地域の社会課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる社会福祉の実現を目指しつつ、今後も初心を忘れずに日々の業務にあたっていきたいです。



